

開催協議会名	令和6年第4回 津和野警察署協議会		
開催日時	令和6年12月12日（木）14時00分から16時30分までの間		
出席者	協議会委員	4人（松浦会長、齋藤副会長、岩本委員、朋澤委員）	
	公安委員	原田由美 委員	
	警察署	7人（署長、副署長、生活安全刑事課長、交通課長、警備課長、地域係長、総務係長）	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	令和7年速度取締り指針
		説明概要	<p>1 当署管内における交通事故実態（路線別、時間帯発生状況）の分析結果</p> <p>2 速度取締り重点路線、重点時間帯、指定理由</p> <p>3 その他重点取締り場所、交差点名等理由、重点対象違反</p> <p>4 指定した路線・区域・交差点・時間帯等以外における、白バイ、パトカーによるランダムな機動取締りの推進</p>
		答申(意見等)	<p>1 津和野町内の国道9号線で警察官に似せたマネキンが設置されており効果的である。今後も交通事故抑止につながる活動を継続してもらいたい。</p> <p><b>【警察】</b> 駐在所員がアイデアを出し、設置したもので事故防止に有効であった。</p> <p>2 自分の居住する地域には外国籍の方を雇用している企業があるが、夜光反射材着用のために警察として何か対策をしているか。</p> <p><b>【警察】</b> 警察から企業に対して、夜光反射材の着用を指導している。また、鹿足キラリ推進隊の活動も継続的に実施している。</p> <p><b>【警察】</b> 津和野警察署管内は高速道路がなく、国道9号、187号でスピードを出す車が多いことから、</p>

		この路線で速度取締りをすることも多い。警察官の街頭活動やパトカーでのレッド走行も有効であるが、交通指導取締りも必要である。
	諮問事項	若手職員の指導育成方策
	説明概要	<p>1 若手職員の指導育成方策</p> <p>(1) 津和野警察署の年代別構成率</p> <p>(2) 各課・係の取組について 各種訓練・教養等の推進</p> <p>2 中途離職対策</p> <p>(1) 島根県警察の現状</p> <p>(2) 津和野警察署としての中途離職防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 署長との意見交換会の開催</li> <li>○ 行事を通じた各種取組</li> </ul> <p>【警察】</p> <p>若手の育成に力を入れているが、若手職員のモチベーションを上げることを第一に考えている。津和野署は、取扱う事件・事故が少ない。若い人がモチベーションを維持することが難しい。そこで、11月に20代の若手職員との意見交換会を開催したところ、様々な意見が上がった。</p>
	答申(意見等)	<p>1 私の職場では、職員の家庭の事情、個人の事情をよく確認している。人は気持ちで動くので意欲を持って仕事を継続できるように努めている。</p> <p>2 若い人から、様々な意見が上がっているようであるが、このように署長に意見が言えるということは良いことだと思う。</p> <p>3 若いからやって当たり前でなく、やってもらったら人として感謝の言葉を述べるのは当然だと思う。</p>
公安委員会委員の総括	<p>1 令和7年速度取締り指針</p> <p>現状の事故分析も適正にされている。重点路線の取締りを強化して交通事故の減少に努めてほしい。</p> <p>2 若手職員の指導育成方策について</p> <p>津和野警察署は、大規模署と比較して事件・事故の取扱いが少な</p>	

いのをカバーするため、各課・係がいろいろな訓練をして補っていることが分かった。特に、20代、30代は経験を積むのに重要な年代であるので、スキルアップをさせてもらいたい。

中途離職防止対策に必要なのは、待遇面とモチベーションの2点であると考えている。訓練では、精神的なモチベーションを上げるトレーニングをぜひ取り入れてほしい。警察は、人のために働く立派な仕事であるので、やりがいを伝えていく必要がある。

視 察

サインカー視察

説明内容

交通課長からサインカーの説明

- ・ 幹線道路などでの交通規制
- ・ 自然災害などの災害警備活動
- ・ 交通安全運動や各種イベントにおける広報啓発活動

委員からの感想

実際に近くで見ると、文字も見やすく、またいろいろな表示ができることが分かった。今後も警察活動に活用し、治安維持に努めてもらいたい。

写 真



会長挨拶



署長挨拶



公安委員会委員挨拶



報告状況（総務係長）



諮問状況（交通課長）



公安委員会委員総括



サインカーの説明